

# 高梨の醤油蔵

高梨家には、4つの醤油蔵しょうゆぐらがあった。元蔵もとぐら、出蔵でぐら、続蔵つづきぐら、辰巳蔵たつみぐらである。

〈元蔵〉は現在、上花輪歴史館駐車場になつてゐる場所にあつた。安永元年（1772）に元石もといしく五百石の蔵として新設された。明治6年（1873）には造高ぞうだか式千石（ぞうこくだか）、30円の税金が課せられており、明治7年（1874）には「元石式千石」の免許を発給されてゐる。

〈出蔵〉は天明2年（1782）に今上村いまがみに新築した蔵。江戸川に張り出し、荷揚げや出荷に適してゐた。御用ごよう醤油しょうゆをはじめとする上醤油じょうしゅうゆも主にこの蔵でつくられていた。明治6年（1873）には造高三千八百石、57円の税金が課せられており、明治7年（1874）には「元石三千八百石 今上村出造」の免許を発給されてゐる。

〈続蔵〉は安政3年（1856）に出蔵の並びに新設された。

〈辰巳蔵〉は明治5年（1872）に屋敷の巽の方角（南東）に新設された。現在も公道を挟んで駐車場の向かい側にその外観を見ることが出来る煉瓦造れんがづくりの蔵である。

明治6年（1873）には造高式千石、30円の税金が課せられており、明治7年（1874）には「元石式千石」の免許を発給されてゐる。